

立川市 ネットワーク整備計画（案）

1. ネットワークの課題

GIGA スクール構想が目指す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実等のために高速ネットワークは不可欠であることから、文部科学省は「教育 DX に係る当面の KPI」の一つとして、「令和 7 年度までに必要なネットワーク速度確保済みの学校を 100% とすること」との目標を掲げています。本市について、「校内通信ネットワーク環境整備等に関する調査」（文部科学省・令和 5 年 11 月実施）の結果では、「学校規模ごとの当面の推奨帯域」（文部科学省・令和 6 年 4 月）として示された国の基準を満たす学校はありませんでした。

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（1）ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

平成 27・28 年に整備している本市の現行の校内ネットワークについては、性能不足や老朽化により遅延が生じることが度々確認されています。このことから、令和 5 年度に市内中学校からサンプル校 1 校を選定し、ネットワークアセスメントおよびアクセスポイントの調整を専門の事業者へ委託し実施しました。委託業務の中で、ネットワークの可視化、監視を目的としたソリューションであるチエル株式会社の「Tbridge」及び、株式会社シスコの「Thousand Eyes」を導入し、インターネットと WAN のパフォーマンスを可視化し、課題の特定を行いました。

なお、本市は、サンプル校以外の 27 校についても同様のネットワーク構成となっているため、令和 5 年度のサンプル校 1 校のアセスメント実施により全校のネットワークアセスメントが完了しているものとします。

（2）ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

・令和 7 年 7 月から 8 月までの夏季休業期間中に、市内小中学校において、学校への過去のヒアリング内容と上記アセスメントを根拠としてネットワーク更改を実施し、文部科学省が示した必要なネットワーク速度を確保する予定です。

・「クラスや学年などで同時接続をする際にネットワークが不安定になる」等の課題も判明していることから、帯域拡充後に同様の事象が発生するかを確認し、発生する場合は原因箇所の特定を行い、解決策を検討します。

令和 7 年	5～7 月	新ネットワークの設計
	8～9 月	新ネットワークの機器調達・構築
令和 8 年	1～3 月	ネットワーク速度再測定・設定調整など
	4 月～	本稼働